

Veritas NetBackup™ Self Service リリースノート

8.1.2

マニュアルバージョン 1

Veritas NetBackup™ Self Service リリースノート

最終更新日: 2018-10-18

マニュアルバージョン: NetBackup 8.1.2

法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は Veritas Technologies LLC または同社の米国とその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、サードパーティの所有物であることをベリタスが示す必要のあるサードパーティソフトウェア（「サードパーティプログラム」）が含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このベリタス製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のままで提供されるものであり、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC は、本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアと見なされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202、「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。業務用またはホスト対象サービスとしてベリタスによって提供されている場合でも同様です。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
500 E Middlefield Road
Mountain View, CA 94043

<http://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートは世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、お客様のサポート契約およびその時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。サポートサービスとテクニカルサポートへの問い合わせ方法については、次の弊社の **Web** サイトにアクセスしてください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL で Veritas Account の情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関する質問については、次に示す地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界全域 (日本を除く)

CustomerCare@veritas.com

Japan (日本)

CustomerCare_Japan@veritas.com

マニュアル

マニュアルの最新バージョンがあることを確認してください。各マニュアルには、2 ページに最終更新日付が記載されています。最新のマニュアルは、次のベリタス **Web** サイトで入手できます。

<https://sort.veritas.com/documents>

マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

NB.docs@veritas.com

次のベリタスコミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<http://www.veritas.com/community/ja>

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) の表示

ベリタスの Service and Operations Readiness Tools (SORT) は、時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する **Web** サイトです。製品によって異なりますが、SORT はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。SORT がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf

目次

第 1 章	NetBackup Self Service リリースノート	5
	NetBackup Self Service 8.1.2 について	5
第 2 章	新機能および拡張機能	7
	保護の強化	7
	ストレージライフサイクルポリシー、バックアップ保持、およびスケジュー ルの上書き	8
	テンプレートポリシーレポート	8
	コンピュータポリシーのグループ化	8
	単一の保護レベルでの複数の選択モード	8
	VMware の作業負荷の保護	8
	一般データ保護規則	9
	ユーザーインターフェースの拡張	9
	インストールとアップグレードの機能強化	9
	バックアップサーバーの管理	9
	NetBackup ジョブの表示	9
	その他	10
	修正済みのバグ	10
	以前のバージョンからのアップグレード	10

NetBackup Self Service リリースノート

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Self Service 8.1.2 について](#)

NetBackup Self Service 8.1.2 について

NetBackup Self Service 8.1.2 は自動化と制御を IT に提供する一方、ユーザーがセルフサービスで通常のバックアップやリストアのリクエストを処理できるようにします。

Self Service のマルチテナント、役割ベースのアクセス、ダッシュボード機能により、保護対象や進行中のバックアップ使用状況を表示できます。Self Service のリクエストフォームを使うと、NetBackup 管理の複雑性についてトレーニングを受けていないユーザーでも複合ポリシー管理タスクを安全に管理できます。

企業の場合

複数の場所とデータセンターで多くのエンドポイントに対しバックアップおよびリストアを管理することは、通常はスペシャリストのチームを必要とするタスクです。ポリシーへの変更を有効にすることは、時間がかかる、間違いやすい手動アクティビティとなり、これによって重大なリソースが保護されなくなる可能性があります。

直感的なセルフサービスポータルを有効にすると、複雑さと間違いが減り、多くの手動ポリシー変更アクティビティが自動化されます。また、非バックアップスペシャリストは管理および監査される環境でバックアップおよびリカバリ関連のタスクを実行できるようになります。

サービスプロバイダの場合

混合プラットフォームで複数のテナントにバックアップおよびリストアサービスを提供することは、多くのサービスプロバイダにとって課題です。サービスプロバイダはセルフサービスを有効にし、バックアップおよびリストアに対するテナントリクエストを自動化できます。

このアクションによりテナントを管理し、プロビジョニングコストを大幅に減らすことができます。

NetBackup Self Service では、複数のテナントが、インフラストラクチャのバックアップおよびリストアのリクエストが直感的に行われる目的に合ったセルフサービスポータルにアクセスできるようになります。保護環境のステータスは追跡され、報告されます。

サービスプロバイダはテナント環境間の厳密な分離およびセキュリティを保証しながら、自動化から取得します。テナントは保護内容を管理および表示できます。

インストール

NetBackup Self Service をインストールする方法については、『**NetBackup Self Service 8.1.2 インストールガイド**』を参照してください。

新機能および拡張機能

この章では以下の項目について説明しています。

- 保護の強化
- 一般データ保護規則
- ユーザーインターフェースの拡張
- インストールとアップグレードの機能強化
- バックアップサーバーの管理
- NetBackup ジョブの表示
- その他
- 修正済みのバグ
- 以前のバージョンからのアップグレード

保護の強化

NetBackup Self Service の保護機能が強化されて、必要なメンテナンスが削減されました。さらに、これらの変更により、VMware 環境を保護する際の柔軟性が増しました。

Self Service が管理するポリシーに、より多くの属性を設定できるようになりました。これらの属性を、関連付けられている NetBackup マスターサーバー上にある、複数のテンプレートポリシーに指定する必要はなくなりました。

さまざまな保護レベルをユーザーに提供するために、以前のバージョンでは、レベルごとにテンプレートポリシーを保守する必要がありました。この 1 対 1 の関連付けはなくなり、Self Service の多数の保護レベルを使用することで、テンプレートポリシーを共有できるようになりました。

ストレージライフサイクルポリシー、バックアップ保持、およびスケジュールの上書き

ストレージライフサイクルポリシー (SLP) とスケジュール (SLP、保持、頻度、およびバックアップウィンドウを含む) を、**Self Service** で構成できるようになりました。この構成は、作成時にアクティブなポリシーに適用できます。顧客は **Self Service** を設定して、テンプレートポリシーの属性を必要に応じて上書きできます。

テンプレートポリシーレポート

Self Service では、利便性を高めるために、関連付けられているマスターサーバーで必要なテンプレートポリシーのリストが、管理者に提供されるようになりました。[保護タイプ (Protection Type)] 画面に追加された新しいメニューオプションを使用すると、リストをエクスポートできます。このリストには、**Self Service** が検出できないアイテムのステータスレポートが含まれます。また、テンプレート、ストレージライフサイクルポリシー、および保持レベルも含まれます。

コンピュータポリシーのグループ化

Self Service のポリシー管理ルールが拡張されて、ポリシー間でコンピュータグループを分けられるようになりました。この拡張機能は、ルールのテナントと保護レベルが同じ場合に該当します。ポリシー名を変更するには、新しいオプションのコンピュータ属性を使用できます。

単一の保護レベルでの複数の選択モード

Self Service で、単一の保護レベルに、異なるクライアント選択モードのポリシーを組み合わせて行うことができるようになりました。

VMware の作業負荷の保護

いくつかの機能が拡張されて、**VMware** の作業負荷を保護する際の柔軟性が向上しました。**Self Service** で新しい構成オプションを選択すると、関連付けられているテンプレートからデフォルト設定を上書きできます。

- クライアントの選択
Self Service では、**VMware** ポリシーの標準クライアントリストに基づいたクライアント選択をサポートしています。このオプションは、クエリーベースのインテリジェントポリシーへの追加です。また、クライアントを表示名で識別できることに加えて、オプションでホスト名でも識別できます。
- オプションのファイルリストア
VMware バックアップからのファイル回復を可能にするためにポリシーが最適化されて、**Self Service** から制御できるようになりました。

一般データ保護規則

欧州の一般データ保護規則 (GDPR) に対応するため、さまざまな変更が組み込まれました。

ユーザーインターフェースの拡張

Self Service のユーザーインターフェースが全体的に拡張されました。新しくなった上部のバー領域は、ベリタスの標準スタイルを反映しており、新たに設計された[詳細 (About)] ページへのリンクが組み込まれています。

Self Service の各ページで、機能へのアクセスを容易にする、縦画面の領域が使用されるようになりました。この変更により、必要なページング操作が少なくなります。

追加のヘルパーテキストが組み込まれ、レイアウトは特に、より複雑な構成ページで、使いやすさを追求して調整されています。

インストールとアップグレードの機能強化

Self Service のインストールとアップグレードを簡略化するために、さまざまな機能強化が行われました。

特に、アップグレードがシンプルになり、ページの順序とレイアウトが調整され、さらに、操作性を向上させるためにヘルプテキストが追加されました。より頻繁に検出されるエラーメッセージの情報が増えました。

バックアップサーバーの管理

Self Service のバックアップサーバー (以前の「場所」) の管理領域が全体的に見直されて、マスターサーバーの接続性の登録と保守が容易になりました。トラブルシューティングを簡略化するために、追加の検証とエラー検出が組み込まれました。ページのデザインが変更されて、使いやすさが向上しました。

新たに、**NetBackup REST API** の構成セクションも利用可能です。

NetBackup ジョブの表示

非テナント管理者は、**Self Service** でコンピュータに関連付けられている **NetBackup** ジョブを表示できるようになりました。[コンピュータ詳細 (Computer Details)] ページの新しい[ジョブ (Jobs)] タブに、ジョブのリストと詳細ページが表示されます。関連ジョブのクエリーには、**NetBackup API** を使用します。このデータは、最小の **NetBackup 8.1.2** を使用する場合にのみ表示できます。

その他

- ユーザーインターフェースで利用可能な新機能をサポートするように、**Self Service API** が拡張されました。API は、バックアップサーバーの管理もサポートするようになりました。
- 管理者は、監視用のタブから使用状況データを再生成できるようになりました。

修正済みのバグ

次の問題が解決されました。

- 保護されている **vApp** の名前を変更すると、次の **vCloud** インポートで、**NetBackup** ポリシーが更新されます。
- 特定のコンピュータを参照できる候補ユーザーの数を制限する、画面表示の問題が解決されました。
- **REST API** を使用してコンピュータを保護する場合に、ユーザーインターフェースと比較して検証が一貫しない問題は解決されました。
- **vCloud** クライアントのトレースが強化されました。
- **VM** のリストアタスクは、場所が見つからない場合にも処理されるようになりました。
- クライアントベースポリシーの保護を要求することで、オペレーティングシステムとハードウェアが確実に定義されるようになりました。
- テーマ設定のページで誤ったフィールドラベルが表示される問題が修正されました。
- カタログ名の大文字と小文字の区別の問題が修正されました。この問題は、信号機の表示とコンピュータのリストに影響していました。
- アクティビティの監査画面に表示される日付が、より正確に表示されるようになりました。

以前のバージョンからのアップグレード

NetBackup Self Service 7.7、**7.7.3**、**8.0** および **8.1** からアップグレードできます。

詳しくは『**NetBackup Self Service Installation Guide バージョン 8.1.2**』を参照してください。